

大分県知事選挙
選挙公報掲載文原稿用紙

候補者氏名			
連絡責任者	氏名		
	住所	市郡	町村 番地
	電話	()	

惰性を断つ。新しい風 大分に

20年ぶりの新しい知事を
決める選挙です。投票に行こう!

県政のリーダーを、一部の組織や人が決めたり、中央官庁出身者の指定席としたりするのはおかしいと思います。決めるのは、県民の皆さん一人ひとりです。必ず投票に行きましょう!

“完全”県民党、草の根です。

どの政党や団体からも推薦をいれず、“完全”県民党で、草の根で挑戦しています。県民の皆さん一人ひとりと正直に、しっかりと向き合うには、しがらみがない方がいいと思いました。

行政に、民間の発想や経営感覚も。

「前例がないので、できません」を「前例はないけど、一緒にやってみましょう」に変えます。県民の困りごとを自分ごとと捉え、現場でがんばる方々にしっかりと向き合う行政にします。

2 日本一の「ひとづくり」県を目指します。

民間の時も、国会議員の時も、県内津々浦々を回り、さまざまな方々にお会いしました。業種を問わず、皆さんが口を揃えておっしゃるのは「ひとづくりが大事」。県政の大黒柱は「ひとづくり」です。



詳しくは
ホームページで
ご覧いただけます。

世界、特にアジアに打って出ます。

6年前に上海に出張した際、店頭販売の鮮魚のほとんど全てが長崎県産。なぜか。県庁マンが長い時間をかけ、生産者と一緒に販路開拓をしたからです。国ではなく、県がしたことです。今は豊かなアジア。大分に近く、留学生・卒業生も多くいます。地の利を生かし、私が先頭立ってトップセールスをします。

7つの大きな方向性
7つの基本政策

- 1 「現場主義」に徹した
県庁の組織・風土づくり
- 2 子どもの方を向いた
教育・養育の環境づくり
- 3 農林水産業の基盤強化
- 4 産業の育成、経済の発展
- 5 防災・減災、県土強靱化、
危機管理への対応
- 6 文化・芸術、スポーツの振興
- 7 福祉の充実、共生社会・
男女共同参画社会の実現

略歴

1969年(昭和44年)12月14日生まれ
1988年 大分県立別府青山高等学校卒業
1992年 上智大学法学部国際関係法学科卒業
1992年 新日鉄(現・日本製鉄)入社
1999年 朝日新聞社 入社
2014年 朝日新聞社 退職

2015年 別府市長選に出馬
2015年 別府市内で旅行会社を創業
2019年 第25回参議院議員選挙にて立候補・当選
経済産業委員会、財政金融委員会に所属
2023年 大分県知事選出馬のため参議院議員を辞職
(3月10日)

役職

淡路伝光盞流日本詩道会 広報室長
別府青山・翔青高等学校 同窓会長

趣味

テニス、山登り、読書、ギター、詩吟

家族

妻、娘、息子

好きな言葉

「本(もと)を忘れず、末を乱さず」
「鳥の目、虫の目、魚の目」

※写真を貼付
しないでく
ださい。

あだちちきよし

無所属

※受付日時	※受付番号	※受付者

(※欄は記入しないでください)

大分県選挙管理委員会